

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-276874

(P2004-276874A)

(43) 公開日 平成16年10月7日(2004.10.7)

(51) Int.CI.⁷

B62B 9/14

F 1

B 62 B 9/14

テーマコード(参考)

3 D O 5 1

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号	特願2003-74723 (P2003-74723)	(71) 出願人	390006231 アップリカ▲葛▼西株式会社 大阪府大阪市中央区島之内1丁目13-1 3
(22) 出願日	平成15年3月19日 (2003.3.19)	(74) 代理人	100091409 弁理士 伊藤 英彦
		(74) 代理人	100096792 弁理士 森下 八郎
		(74) 代理人	100091395 弁理士 吉田 博由
		(72) 発明者	▲葛▼西 健造 大阪市中央区東心斎橋1丁目14番9号
		(72) 発明者	大西 伊知朗 大阪市中央区島之内1丁目13番13号 アップリカ▲葛▼西株式会社内 最終頁に続く

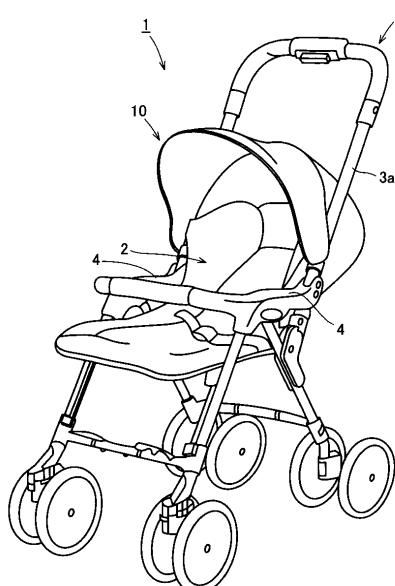
(54) 【発明の名称】幌を備えた乳母車

(57) 【要約】

【課題】椅子状態およびベッド状態の両状態において、子供を日差しから有効に保護することのできる幌を備えた乳母車を提供する。

【解決手段】乳母車1は、椅子状態とベッド状態とに切換える可能な座席2を有する座席本体と、座席2の上部を覆うような位置で乳母車本体に取り付けられた幌10とを備える。幌10は、椅子状態の座席2を覆う上方位置と、ベッド状態の座席2を覆う下方位置との間で高さ調節可能に設けられている。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

椅子状形態とベッド状形態とに切換え可能な座席を有する乳母車本体と、座席の上部を覆うような位置で前記乳母車本体に取り付けられた幌とを備え、前記幌は、椅子状形態の座席を覆う上方位置と、ベッド状形態の座席を覆う下方位置との間で高さ調節可能に設けられている、幌を備えた乳母車。

【請求項 2】

前記幌は、前記上方位置および下方位置で、前記乳母車本体に着脱可能に取り付けられている、請求項 1 に記載の幌を備えた乳母車。

【発明の詳細な説明】

10

【0001】**【発明の属する技術分野】**

この発明は、椅子状形態とベッド状形態とに切換え可能な座席と、幌とを備えた乳母車に関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

特開昭 57 - 95254 号公報は、椅子状形態とベッド状形態とに切換え可能な座席を有する乳母車を開示している。特開 2002 - 187554 号公報は、座席の上部を覆う幌を備えた乳母車を開示している。

【0003】

20

幌は、特に、座席に着座した子供を強い日差しから保護する機能を有する。

【0004】**【特許文献 1】**

特開昭 57 - 95254 号公報

【0005】**【特許文献 2】**

特開 2002 - 187554 号公報

【0006】**【発明が解決しようとする課題】**

従来の乳母車においては、幌は、椅子状態の座席に適合する高さの位置で乳母車本体に取り付けられている。椅子状形態とベッド状形態とに切換え可能な座席を有する乳母車においても、幌は、椅子状形態の座席に適合する高さ位置で取り付けられる。そのため、座席をベッド状形態にしたとき、幌は、ベッド状の座席からかなり上方に位置することになり、子供を日差しから有効に保護できないような場合が生じ得る。

30

【0007】

特に、軽量化、コンパクト化を狙った乳母車の場合、幌の大きさも小さくする傾向にあるので、乳母車をベッド状態にしたとき、子供を日差しから護るという幌本来の機能も果し得なくなるおそれがある。

【0008】

この発明の目的は、椅子状形態およびベッド状形態の両状態において、子供を日差しから有効に保護することのできる幌を備えた乳母車を提供することである。

40

【0009】**【課題を解決するための手段】**

この発明に従った乳母車は、椅子状形態とベッド状形態とに切換え可能な座席を有する乳母車本体と、座席の上部を覆うような位置で乳母車本体に取り付けられた幌とを備える。幌は、椅子状形態の座席を覆う上方位置と、ベッド状形態の座席を覆う下方位置との間で高さ調節可能に設けられている。

【0010】

一つの実施形態では、幌は、上方位置および下方位置で、乳母車本体に着脱可能に取り付けられている。

50

【0011】

上記の本発明によれば、幌は、椅子状形態およびベッド状形態の両状態において、それぞれ最適な高さ位置にあるので、子供を日差しから有効に保護することができる。

【0012】**【発明の実施の形態】**

図1～図5を参照して、この発明の一実施形態を説明する。

【0013】

図1および図2を比較すれば明らかなように、乳母車1は、椅子状形態(図1)およびベッド状形態(図2)に切換え可能な座席2と、座席2の上部を覆う幌10とを備える。乳母車1は、1対の手摺部材4の後方端部分から上方に延びている逆U字形状の押棒3を備えている。幌10は、押棒10の1対の縦棒3aに着脱可能に取り付けられる。

10

【0014】

図3は、幌10を示す側面図である。幌10は、取り付けベース14から上方に延びている幌骨11、12と、幌骨上に被せられる幌布13とを有する。図3では、幌布13を想像線で示している。

【0015】

幌10は、図1に示す上方位置と、図2に示す下方位置との間で高さ調節可能に設けられている。すなわち、座席2を図1に示す椅子状形態にしたとき、幌10の高さを椅子状形態に対して最適な上方位置にする。座席2を図2に示すベッド状形態にしたとき、幌10の高さをベッド状形態に対して最適な下方位置にする。

20

【0016】

上述のような幌10の高さ調節を可能にするために、図示した実施形態では、幌10は、押棒3の1対の縦棒3aに着脱可能に取り付けられている。図4は、幌10を押棒3に取り付ける前の状態を示し、図5は取り付け後の状態を示している。

【0017】

図4に示すように、押棒3の1対の縦棒3aは、前述した幌10の上方位置および下方位置に対応する上下の2箇所の位置に、凹部3bを有する。幌10の取り付けベース14は、縦棒3aの外面上に嵌る外筒部14aを有する。外筒部14aの内面には、縦棒3aの凹部3bに係合する凸部14bが設けられている。取り付けベース14は、例えは樹脂で作られており、外筒部14aの直径を多少拡張できる弾力性を有している。

30

【0018】

図4に示す状態から、幌10の取り付けベース14を押棒3の縦棒3aに押し付ければ、図5に示すように、幌10の取り付けベース14の凸部14bと縦棒3aの凹部3bとが係合状態になり、幌10の位置を固定できる。

【0019】

こうして、本発明の一実施形態によれば、幌を、椅子状形態およびベッド状形態の両状態において、それぞれ最適な高さ位置に取り付けることができるので、子供を日差しから有効に保護することができる。

【0020】

なお、上述の実施形態では、幌10を押棒3に着脱可能に取り付けていたが、押棒以外の乳母車本体に取り付けることも可能である。

40

【0021】

また、他の実施形態として、幌を乳母車本体に対して上下方向にスライド可能に設けるようにしてよい。この場合であっても、幌は、椅子状形態に最適に適合する上方位置と、ベッド状形態に最適に適合する下方位置とを取り得るようになることが必要である。

【0022】

なお、高さ調節可能な幌を備える乳母車は従来から存在しているが、これらの乳母車では、幌は、椅子状形態に適した高さの範囲内で高さ調節可能になっているだけである。椅子状形態とベッド状形態の両状態において最適高さ位置を取り得るような幌を備えた乳母車は、従来、全く提供されていない。

50

【0023】

好ましくは、幌は、椅子状形態に適した高さおよびベッド状形態に適した高さの両状態において、乳母車の折畳み動作に支障をきたさないように構成する。乳母車が椅子状形態になっているとき、幌は、通常、背もたれ部よりも上方に位置するので、その存在が背もたれ部と座部とを近づける折畳み動作に支障をきたさない。乳母車がベッド状形態になっているときには、幌は、ベッド状形態に適した高さになっている。幌をこの高さに維持したままで乳母車の折畳み動作を行なうと、幌は、背もたれ部と座部とに挟まれて前後方向に縮小する。

【0024】

以上、図面を参照してこの発明の一実施形態を説明したが、この発明は、図示した実施形態に限定されるものではない。図示した実施形態に対して、この発明と同一の範囲内において、またはこの発明と均等の範囲内において種々の修正や変形を加えることが可能である。

10

20

【図面の簡単な説明】

【図1】座席が椅子状形態になっている乳母車を示す斜視図である。

【図2】座席がベッド状形態になっている乳母車を示す斜視図である。

【図3】幌を示す側面図である。

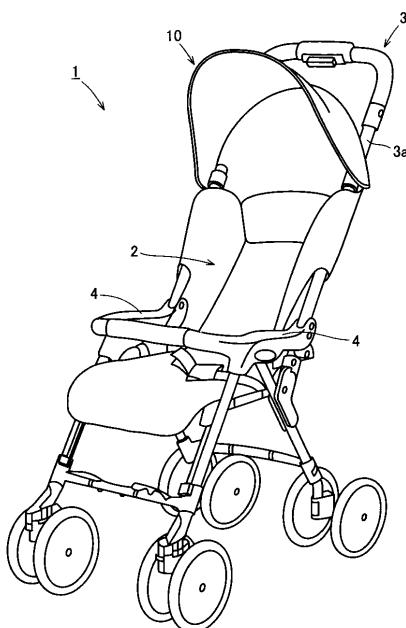
【図4】幌を押棒に取り付ける前の状態を示す断面図である。

【図5】幌を押棒に取り付けた状態を示す断面図である。

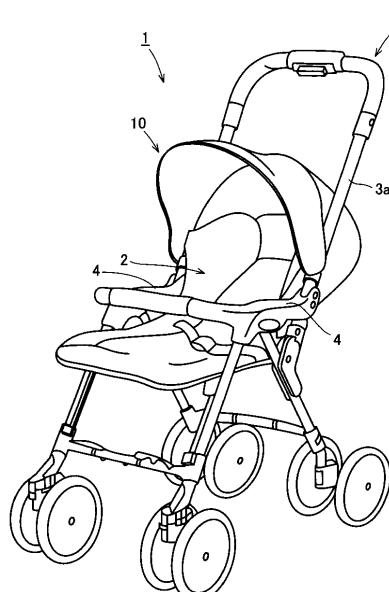
【符号の説明】

1 乳母車、2 座席、3 押棒、3a 縦棒、3b 凹部、4 手摺部材、10 幌、
11 幌骨、12 幌骨、13 幌布、14 取り付けベース、14a 外筒部、14b
凸部。

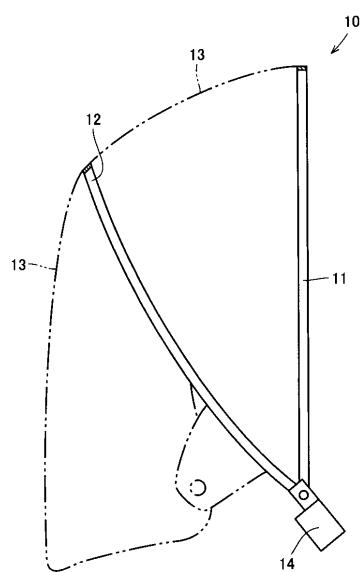
【図1】



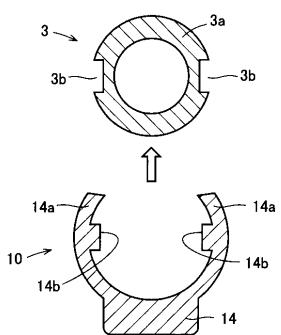
【図2】



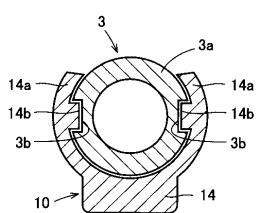
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

F ターム(参考) 3D051 AA02 AA23 CA13 CC05 CG04 CG06